

ブラックアイスバーン スリップ⇒はみ出し⇒衝突 佐呂間 介護施設の送迎車の3人が、車外に投げ出され死亡

2015年12月5日(土)6時25分

4日午前9時前、佐呂間町の道で介護施設に向かう送迎車が対向車線にはみ出し、軽乗用車と衝突した。この事故で、送迎車に乗っていた男性Aさん(82)、男性Bさん(84)、男性Cさん(96)の3人が路外に投げ出され、病院に運ばれたが死亡した。また、軽乗用車を運転していた女性も重傷。事故当時、路面はブラックアイスバーン状態だった。警察は送迎車を運転していた男性容疑者(21)を過失運転傷害の疑いで現行犯逮捕した。岡明容疑者は調べに対し、「スリップして対向車線にはみ出した」と話しているという。

「100日間 冬期交通事故ゼロ運動」

平成27年11月20日(金)～平成28年2月28日(日)

- 冬道、スリップによる追突・横転事故の根絶
- わき見・居眠り運転の防止へ…自己管理の徹底
- 天候・道路状況に応じた適正なスピード
- デイ・ライトで、自分の車の存在を知らせて…事故を未然に防ごう

2時間ごとに、15分休憩！

スピード落として、しっかり安全確認！

車間距離を十分に！ 滑って、追突を未然に防止

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”注意

バック時は 降りて確認 乗っても確認

交差点 「右左確認／よ～し！」

眠気を感じながら運転を中止しなかった

大型トラックの職業運転手にもかかわらず

最も基本的な注意義務を怠った

多重事故、6人死傷 トラック運転手に禁錮3年判決

2015年12月4日(金)8時8分

静岡県の国道で8月、大型トラックを運転してオートバイに追突するなどし、6人を死傷させたとして自動車運転処罰法違反(過失致死傷)の罪に問われた、無職の男性(55)の判決公判で、地裁は3日、禁錮3年(求刑禁固5年)を言い渡した。

裁判官は判決理由で、眠気を感じながら運転を中止しなかったことに対し、「より緊張感を持って運転すべき大型トラックの職業運転手にもかかわらず、最も基本的な注意義務を怠った。強い非難に値する」と指摘。「被害者やその家族に負わせた身体的、精神的苦痛は非常に大きい」とした。

判決によると、被告は8月12日午前6時ごろ、国道交差点で計4台が絡む玉突き事故を起こし、オートバイを運転していた男性会社員＝当時(53)＝を死亡させ、5人に重軽傷を負わせた。

午後3時 重機を積んだトラックと衝突

右斜め方向に横断中の3輪自転車の女性重体

2015年12月4日 17:34

4日午後3時ごろ、栃木県で、会社員男性(31)のトラックが、無職女性(79)の3輪自転車と衝突した。女性は頭を打つなどし重体。警察によると、女性の3輪自転車が右斜め方向に走りながら道路を横断中、車が衝突したという。女性は買い物からの帰宅中、男性は工事現場から資材置き場に小型重機を搬送中だった。

危険ドラッグ裁判 元少年の懲役13年判決確定

2015.12.5 07:08

昨年5月に長野県で危険ドラッグを使って乗用車を無免許運転し、3人を死傷させたとして、危険運転致死傷などの罪に問われた当時19歳の元少年(21)に懲役13年(求刑懲役15年)を言い渡した地裁判決について、地検、被告双方が控訴せず判決が確定した。元少年は昨年5月14日に中野市内の県道で、危険ドラッグを使い正常な運転が困難な状態で対向車線を逆走し、時速126キロを超えるスピードで対向車に次々と衝突。消防士の男性＝当時(25)＝を死亡させ、別の車2台の2人に重軽傷を負わせた。

「昨夜に飲酒した、怖くなって逃げた」

小学生をひき逃げ容疑で支援学校教諭逮捕

2015.12.5 07:08

熊本県警は3日、小学生を車ではねて逃げたとして、自動車運転処罰法違反(過失傷害)と道交法違反(ひき逃げ)の疑いで、支援学校の教諭の男性容疑者(51)を逮捕した。警察によると、目撃情報から容疑者の車と判明。署員が午前中に、学校で勤務していた容疑者を任意同行した。「昨夜に飲酒した。怖くなって逃げた」と供述しているという。逮捕容疑は3日午前7時40分ごろ、市道で通勤の際、横断歩道を渡っていた小学3年の男児(8)をはねて左足に約1カ月の重傷を負わせ、逃走したとしている。